

★グループワーク



- ①「文化」「スポーツ」という言葉を聞いて、連想するものやイメージをグループで出し合い、意見交換をしました。
- ②一人ひとり、普段の生活を表に書き出してみました。すると、同じ生活をしている人はいないこと、人それぞれに異なるニーズがあることがわかりました。
- ③どんなモノやコトがあったら文化・スポーツを楽しめるまちになるのか、提言に向けて原稿の作成、発表の練習を行いました。



★子ども夢フォーラム～発表の部～で市長へ提言

令和6年3月16日(土曜)に子ども夢フォーラム～発表の部～にて、1年間の活動紹介と「文化やスポーツをもっと楽しめる松戸市にするには？」についての提言を行いました。
私たちこどもモニターは自分たちの意見が、松戸市で実現されることを期待しています。

子ども夢フォーラムとは？

学校活動のみならず、スポーツや文化芸術活動など多方面で活躍する子どもたちの表彰や活動紹介を通じて、すべての子どもの「夢」の実現を地域全体で支援することを目的に開催しているイベントです。



★非行防止キャンペーンに参加しました

令和5年10月14日(土曜)に松戸駅・新松戸駅前広場で開催された非行防止キャンペーンに参加しました。
青少年健全育成のため、ティッシュを配り、非行防止・薬物乱用防止の啓発活動に協力しました。

活動をとおしての感想



- こどもモニターの活動をとおして松戸市のことを考えることができ、良い機会になりました。
- 最初は不安だったけれど、仲間と共に松戸市について深く知り、考えることができてとても楽しい活動でした。
- いろんな学校の人達と話し合いをして、たくさんの違った意見を聞いて、とても勉強になりました。
- 学校外の友達や仲間ができることがとても嬉しく、話し合いで意見を深めることにやりがいを感じました。
- テーマについて他の人の意見を知ることで多様な価値観を持つことができたと感じました。

松戸こども新聞

令和6年3月発行
第80号

第50期こどもモニターが考えた

「文化やスポーツをもっと楽しめる松戸市にするには？」

みなさんは、「文化」「スポーツ」と聞くとどのようなイメージがありますか？



私たちは、今回の提言をするにあたり、グループワークで「文化」や「スポーツ」についてイメージしていることを具体的な言葉にすることから始めました。

自分の生活を振り返ってみると、学校の授業や部活動、習い事などを通じて自然に文化やスポーツに親しんでいる事に気づきました。

また、生活をより豊かにすることに「文化」や「スポーツ」が深く関係している事、自分の趣味や好きなことによって、体験する「文化」や「スポーツ」が異なることなどがわかりました。そして、グループワークを進めていくと、どのグループからも「多くの人と一緒に文化・スポーツを楽しみたい！」という共通の思いが浮かびあがりました。



こどもモニターってなあに？

市長より委嘱を受け、子どもの意見を市の政策や事業に反映させることを目的に活動します。

第50期のメンバーは小学6年生10名と中学2年生22名の合計32名です。今年度は、「文化やスポーツをもっと楽しめる松戸市にするには？」をテーマに、グループワークを行ってきました。



1 班 「ペットと一緒に文化やスポーツを楽しみたい!!」

市内にペットと一緒に過ごせる施設が少ないことや、一緒に利用できる公共交通機関が少ないことに着目し、ペットも人も暮らしやすいまちをつくりたいと考えた。



ペットと飼い主が過ごしやすい「22世紀の森と広場」

● 鳥などのペットも遊べる屋内の遊び場

- ▶ 屋内なら放しても逃げない!

● ペットと一緒に運動ができるジム

- ▶ 大切なペットと一緒にならもっと頑張れる!

● ペットと一緒に乗れる交通手段も整備

- ▶ 施設やイベントがあっても、移動手段がなければ参加することを諦めてしまう人がいる。ペットも一緒に乗ることができる専用のバスがあれば、自家用車のない人でも気軽に楽しめる。

● ペットと一緒に写真が撮れる写真館

- ▶ 飼い主だけではなくペット用の衣装も用意して、思い出に残る写真を撮影! 衣装の中には着物なども用意することで日本の文化にも触れられる♪

こんなイベントを開催したい!

- ペットと一緒に走れるマラソン大会
 - ▶ 一緒に体を動かすことで、ペットとの絆が深まり思い出にも残る
- ペットのおもちゃや、お洋服などのペット用品が出品できるフリーマーケット



3 班 「スポーツをとおして松戸を豊かに!!」

スポーツには「やるスポーツ」と「見るスポーツ」があり、さらには若者から高齢者、体の不自由な方や海外の方など、それぞれに異なる楽しみ方がある。そこで、より多くの人を楽しめるスポーツ施設について話し合った。

こんな施設があったらいいな! 私たちが考えた2つの施設

ゲーム感覚でスポーツが体験できる施設

メジャーなものからマイナーなスポーツまで、フロアごとに異なるスポーツのミニゲームを体験できるようにすることで、興味を持ったスポーツを始めるきっかけになる。

ドーム施設

一般の人に貸し出すことはもちろん、プロスポーツ選手の試合の開催地とする。また、スポーツだけでなくコンサートやライブなどの会場としても活用する。

★子どもがスポーツをはじめるきっかけになって夢に繋がる

★さまざまな形でスポーツが楽しめる人気の観光地になる

★松戸市からプロスポーツ選手が誕生する

★施設の周りが発展する

松戸市全体がさらに明るく豊かになる!

2 班 「松戸市の音楽をもっと盛んにしたい!!」

子どもたちが日常の中で、演奏を発表する機会や、気軽に音楽に親しめる場所が少ないと感じたため、もっと音楽を盛んにする方法を話し合った。

① 楽器の寄付やサポートを充実させたい

現状 楽器が高価…
お手入れセットなどの消耗品が必要…
楽器の演奏を続けることが大変

子どもたちの発表の場を増やす

- ・子どもたちの演奏を聴いたら、関心を持ってもらえる!
- ・「応援したい」と思ってもらえる!

理想 楽器の寄付や
楽器の演奏を続けるための
サポートが充実する

② 気軽に音楽に親しみたい!

● 音楽スタジオをつくる

- 楽器を借りることができたり、体験会を企画・開催したりする
 - ▶ 楽器を持っていなくても気軽に立ち寄れる!

- 防音の音楽スタジオがあれば、周りを気にせず思い切り練習することができる

- ▶ スキルアップにつながる!

● 楽器の魅力を経験者に発信してもらう

- 実際に楽器に触れている人から話を聞くことで、音楽の知識を得たり関心を持つことができる!

楽器を始めるきっかけづくりや、
本気で取り組みたい人をより応援をすることができ、
音楽という文化をより盛んにすることができる!



4 班 「体を動かして遊びながら学びたい!!」

子どもたちは学校や塾で、教科書・ノートを使い、机に向かって勉強をする毎日…
そこで、勉強が苦手な子も、運動が苦手な子も、体を動かし遊びながら、ゲーム感覚で学ぶことができれば楽しく学べるのではないかと考えた。

謎解き脱出ゲーム! 楽しみながら体と頭を動かそう!

- 小・中学生を対象に施設などを貸し切り、謎解き脱出ゲームを企画する
- 体を動かしながらも、頭を使って思考力を高めることができる
- グループで協力することで脱出できた時の達成感を共有できる
- 松戸市の文化やスポーツにまつわる謎解きも交えることで、松戸市のことをもっと知ることができる

謎解き問題の例

- ① ボールはボールでも四角いボールってどんなボールでしょう?
- ② 持つだけで手が震えてしまう家具ってなんでしょう?
- ③ 松戸市には公園がいくつあるでしょう?

答え ①ダンボール ②テーブル ③471

